

2026 年度 事 業 計 画

2026 年度も施設協会の基本的な役割である、①鉄道施設分野の「人と技術」を「横（全国に）」と「縦（将来に）」に繋ぐ取組み、②協会の持つ公的性格を有効活用した取組みを行い、鉄道施設分野発展のため取り組んでまいります。また、会員減少や経費増など厳しい経営環境は続いておりますが、引き続き安定した協会運営を維持し、会員の皆様に貢献できる活動を行っていきます。

1. 鉄道施設分野の「人と技術」を「横」と「縦」に繋ぐ取組み

- (1) 施設協会誌は、特集企画の一層の充実とともに幅広い観点からの情報の提供、さらに昨年度より導入した「サポート編集委員」による読者目線での誌面作りにより、多くの会員に読んで頂く編集を進めます。また業務資料として昨年から連載である「線路下横断構造物」に加え、2026 年 1 月から「軌道構造と材料」をスタートし、継続して掲載いたします。
- (2) 技術講演会等で発表された研究成果の中で、その後広く展開・活用されている優れた技術及び取組みを対象とした新たな賞として、「鉄道局長賞」を創設し、鉄道施設分野の技術の進化と発展に寄与していきます。
- (3) 多くの会員にそのメリットを実感して頂き、また会員の技術向上と相互の交流につながる現場見学会を継続的に開催いたします。
- (4) 協会ホームページについては、保安講習会の案内や講演会等の諸行事に関するお知らせをよりわかりやすく、見やすくする取組みを継続するほか、タイムリーな情報発信の拠点となるように取り組んでいきます。
- (5) 全国的な技術研鑽の場でありまた多くの会員の交流、意見交換の場として貴重な機会である鉄道施設技術発表会、用地・協議業務研究会および総合技術講演会を、引き続き主催いたします。合わせて、当日聴講できない会員のために映像の配信を実施します。
- (6) 協会ホームページにおいて電子公開している「施設協会ライブラリー」のさらなる充実を図るべく、戦前及び国鉄時代の講演会資料等を順次電子化していきます。また貴重な図書についてはその保存とともに、鉄道会社などで保有している図書についてもデータベース化する取組みを進めます。
- (7) 支部活動のさらなる活性化を進め、地域において広く会員間の交流、連携する機会をより多く創出できるように取り組んでいきます。

2. 公的性格を有効活用した取組み

- (1) 保安事業では、引き続き公正性を確保しつつ充実した資格講習を効率的に実施します。また講習内容の質の向上と受講生の利便性を図るため、オンラインを活用した新たな保安講習の実現に向け、システムの構築を進めるとともにコンテンツ作りを進め、試行を行います。
- (2) 現在受託しているＪＲや一部民鉄以外の会社からの新たな資格講習会の受託に取り組むとともに、その拡大を通じて鉄道の安全と安定輸送に貢献していきます。
- (3) 外国人材受け入れに関わる試験実施機関として、技能実習制度及び特定技能制度の評価試験を公正・厳正に実施するほか、2027年度より施行される新たな育成就労制度に対応すべく準備を進めていきます。また参考テキストの作成や既実施企業の事例紹介など、適切な情報提供に努めていきます。
- (4) 国土交通省からの軌道の維持管理講習会等の受託を継続し、中小民鉄の技術力の向上と技術者の交流、連携強化の場として取り組んでいきます。またオンラインでの開催や現場での実習を組み合わせ、より効果的な講習を実施いたします。
- (5) 技術職員が少ない地方鉄道の現状に鑑み、協会ホームページに設置した「地方鉄道の窓口」に寄せられる技術相談に対し、施設協会のネットワークを活かし支援を行います。
- (6) 鉄道設計技士試験の受験対策講習会は、多くの方が受講できるよう対面方式のほか、オンライン方式による講習を併用して行います。
- (7) 鉄道技術検定試験は、幹事会社のＪＲ東日本、ＪＲ北海道、東京メトロと締結した覚書に基づき、更なる試験内容の充実に引き続き取り組みます。
- (8) 叙勲については、鉄道施設分野で長く活躍されている方々に敬意と感謝を表すものであり、協会の重要な役割と位置付けて積極的に取り組みます。
- (9) 協会各賞（保安賞、施工技術賞、技術貢献賞など）については鉄道施設分野の発展と協会の活性化につながるよう支部等との連携を一層進め、取り組んでいきます。

以上のような取り組みにより、今年度も業務効率化などを進め安定した経営を維持し、施設分野の発展とともに会員の皆様により満足して頂けるよう努めてまいります。会員の皆様にはご支援とご協力をお願い申し上げます。